

<学校の教育目標>

ねばり強くやりぬく子

自分で考える

なかまと助け合う

最後までやりきる

<研究主題>

仲間と共に未来を切り拓く児童の育成

～他の学習や生活の場面と学びをつなぎ、資質・能力を高める授業を通して～

<児童の実態>

- 既習を生かしながら、課題意識をもって、その解決に向けて主体的に取り組もうとする児童が育っている。
- 根拠になることを指し示し、仲間に分かりやすく伝える表現力が育っている。
- 仲間の意見に対して、疑問や質問をもち、考えを広げたり深めたりすることに弱さが見られる。
- 学んだことを、他の学習や生活に広げたり、つなげたりしようとする力に課題が見られる。

<願う児童の姿>

- ・自ら課題を見つけ、主体的に学ぶ。
- ・自分の考えを、根拠を明確にして、教科の特性に応じて適切に表現する。
- ・「見方・考え方」を働かせながら、仲間との対話（疑問や質問等）を通して課題を解決する。
- ・学んだことを他の学習や生活の場面に広げ、学び続けることができる。

<研究仮説>

各教科の見方・考え方を働かせながら追究ができるような単元・題材を構成した上で、仲間との対話を中心とした学習活動を設定し、学びのつながりが自覚できるような指導・援助の工夫をすれば、資質・能力が高まり、仲間と共に未来を切り拓く児童が育つだろう。

研究内容 1 学びがつながる 単元・題材計画の構成	研究内容 2 対話を通して学びを深める 学習活動の設定	研究内容 3 学びのつながりが自覚できる 指導・援助の工夫
(1) 各教科の「見方・考え方」を明らかにし、繰り返し働かせる場面を位置付けた単元・題材指導計画の作成 (2) 他の学習・単元や生活の場面と学びのつながりを生み出す実態把握の在り方と位置付け	(1) 対話（疑問・質問等）を通して、自他の考えを広げたり、深めたりする学習活動の設定 (2) 他の学習や生活の場面と学びをつなげる学習活動の設定 (R4重点)	(1) 自分の学びを振り返る学習活動 (R4重点) ・他の学習や生活の場面と学びのつながりを自覚できる振り返り活動の工夫 ・他の学習や生活の場面と学びをつないでいる児童の意図的な価値付け (2) 他の学習や生活の場面と学びのつながりを生み出す学習環境の工夫 ・ICT機器の活用 ・教室掲示の充実
【Nスタ5】 ①みんなで課題をつくろう ②指し示して説明しよう ③ペア・グループで交流しよう ④ハンドサインで深め合おう ⑤ディープトーキングで学び合おう		